

能登復興応援 光のハーモニー ツアー



輪島市役所に飾られた黄金のフェニックス

2025年12月14日~16日

- 1 はじめに
- 2 いざ 能登へ
- 3 珠洲市にて 蛸島第2仮設住宅A棟
- 4 珠洲市にて 障害者施設 すず椿
- 5 輪島市へ
- 6 県立輪島高校と重蔵神社
- 6 輪島市 宅田第1仮設住宅
- 7 九州博多から 愛をこめて
- 8 ひとつとなって

目次

はじめに

2025年5月ユカリクラシックバレエとその仲間たちで行った能登半島復興応援プロジェクト「ありがとうコンサート」の集大成となった今回の復興応援ツアー 光のハーモニー 無事にミッション終了いたしました。

現地へ直接、支援金をお持ちしたいという気持ちが多くの方々と繋がる事が出来、そのご縁で支援団体『のとささえる』そして輪島市支援窓口『ビーズボート』のご協力のもと被災地である珠洲市 輪島市の仮設住宅、輪島高校、重蔵神社を訪問することが出来ました。
また今回の訪問は 当初私一人で行く予定でしたが、『ありがとうコンサート』に出演してくださった【なないろハーモニー】のメンバーを含め5名で訪問でき仮設住宅の方々へ素敵なクリスマスプレゼントを届けることが出来ましたこと心より感謝いたします。

福岡の地で応援してくださっている皆様へ 現地の様子が少しでもお伝えできればと思い記録誌を作りました。まだまた復興が進んでいない能登半島に寄り添う心が芽生えることを願っています。

ユカリクラシックバレエ 光永祐香里



いざ能登へ



飛行機組と陸路バス組と別れての出発。

飛行機組

ANA 12月14日（日）10:05発 小松行

バス組

12月14日（日）午後出発

12月14日は悪天候のため 飛行機が飛ぶかどうか不安のなか、エアポートへ

搭乗前のアナウンスでは 「現地の天候が悪く着陸できない場合は福岡空港へ戻ります！」

小松に着陸するまでちょっと不安を抱えた出発となりました。
陸路組も悪天候のなか1200キロの長い道のりを19時間かけて
駆け付けました！！！！🚗

お疲れ様です。感謝感謝！！

空路組、無事小松空港へ到着。レンタカーを
借りていざ奥能登へ。



高松SAにて 門前町で被災された
スタッフのすぎもとさんと



バス組 バスの中で練習中



仮設住宅・支援団体へ
お土産のお菓子の数々



珠洲市にて



支援者である
ささえ愛センターさん
さんへ

12月15日(月) 訪問1日目 午前中

蛸島町第6団地A棟集会所

金沢の支援団体「のとささえーる」さんの毎月行われている訪問に レクリエーションで仮設住宅にて生活されている方たちと共にひと時を、すごしました。

月1回の訪問時には、「ととのう」ふれあい広場として 医師や看護師、歯科医師、心理カウンセラーほかボランティアの方々がケアされています。被災から2年近くなりボランティアの方々も年々少なくなっているとおっしゃっていました。私たちメンバーで出来る事を、歌を披露するという事ともにその空間を、分かち合い、肩をマッサージさせて頂きながら、お話を伺ったり、皆さんと一緒に歌ったり、さくらさくらでは、一緒に手を動かして舞ってくださったり、とても温かい空気が流れました。心響く音に、涙ぐむ方もいらして、まだまだ心の奥深いところに 思いが詰まっているのだろーと思いました。帰り際に、皆さんから「ありがとう」の言葉をいっぱい頂き、こちらからも「ありがとう」いっぱい返しました。

「頑張ってください」という言葉は、言えず「寒くなるから風邪ひかないでくださいな」と言葉をかわしました。イベントの終了後、主催者さん ボランティアさん 私たちメンバーと共に振り返りの時間を設け、今回の訪問で気が付いたことなど各部署での感想を述べあい、今後の活動に生かすべく点をシェアする時間が設けられていました。能登半島地震復興応援プロジェクトの「ありがとうコンサート」での支援金を団体の代表の薮下さんへお渡しし、現地にて手渡しできました。一つ目のミッション完了!

午後は障害者施設 すず椿さんへ



支援金をお渡しした後に
ボランティアさん達と

ハンドマッサージ

よろず相談

- ・電話師
- ・歯科医
- ・心理カウンセラー
- (公認心理師) ほか

「ととのう」ふれあい広場

日時 12月15日(月)10:30-11:45

場所 蛸島町第6団地A棟集会所

※次回以降の予定: 1/19(月)蛸島町第4 談話室
2/16(月)

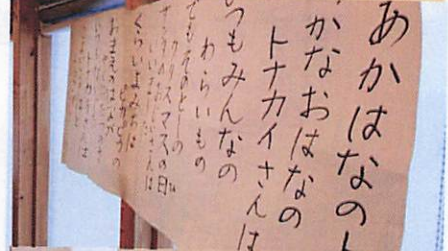
お茶タイム

マッサージ運動

理学療法士
作業療法士ほか

※天候不良の場合中止になることがあります

主催団体: のとささえーる
協力: 珠洲ささえ愛センター・能登復興支援団体「はる」・GENESIS(代表)
問い合わせ先: 珠洲ささえ愛センター 080-7729-9921 (代表)



振り返りの時間

珠洲市にて



12月15日(月)午後 障害者施設 すず椿

午後は、お弁当を頂いて障害者施設 すず椿さんへ訪問
すず椿を利用されている知的障害者の方と近くに住むその地区に住む高齢者の方々が50名ほど、私たちの訪問を楽しみにしてくださっていました。

サザエさんをはじめ2015年の朝ドラ「まれ」の主題歌まれぞらそして今回の能登半島地震で子どもたちの思いをのせて作られた「フェニックス」そして 赤鼻のトナカイと 雪 を皆さんと共に歌い、サンタクロースとなって
博多のお菓子を皆さんへ配りました。

博多のお菓子は如水庵さん社長さんからのご支援もあり
「とっとと」。そしてチロリアンなど。福岡のコーラスグループの方からも美味しいお菓子を提供して頂きました。ありがとうございました。皆さんとても喜んで頂きました。

夕暮れも九州より早く、すず椿さんの訪問の後、被災前観光地として多くの方が訪れた 見附島へボランティアさんの案内で立ち寄ることに。地震の爪痕が残る場所ではありましたが、潮風が心地よく持ってきたクリスタルボウルを奏でメンバーとボランティアさんといばし癒しタイム。自然の中で聞くクリスタルボウルの音色が遠く広く響きました。さて夕食をどこで？珠洲市街地へ少し戻り17:30までやっているカフェレストラン きへいどん にて

すずキッチン食堂 プレハブです。



美味しかった夕食



見附島



輪島市へ



12月16日（火）訪問2日目 能登町から輪島へ

宿泊先の真脇ポーレポーレから またバス組は珠洲市から

約1時間ほどかけて、移動しました。道路は通行できるようになっていますが、片側通行が多く、路肩に積み上げられた瓦礫には目を覆うものがありました。

珠洲市は元日の地震に加え、その後の豪雨災害での被害の大きさを示す跡形がかなり残っていました。行き交う大型トラックそしてクレーン車、重機のなんと多いことか、岐阜や長野、苫小牧など他県ナンバーの大型車にかなりすれ違いました。前日に夕食をとったカフェ・レストラン キヘエどんのスタッフさんからも、福岡からも災害復興の為、業者が入っているとお聞きしました。

一路、輪島へ。天気予報では雨となっていました、輪島へ入ると海岸線に美しい大きな虹を発見。とてもうれしい気持ちで、輪島高校へ目指して車を進めました。

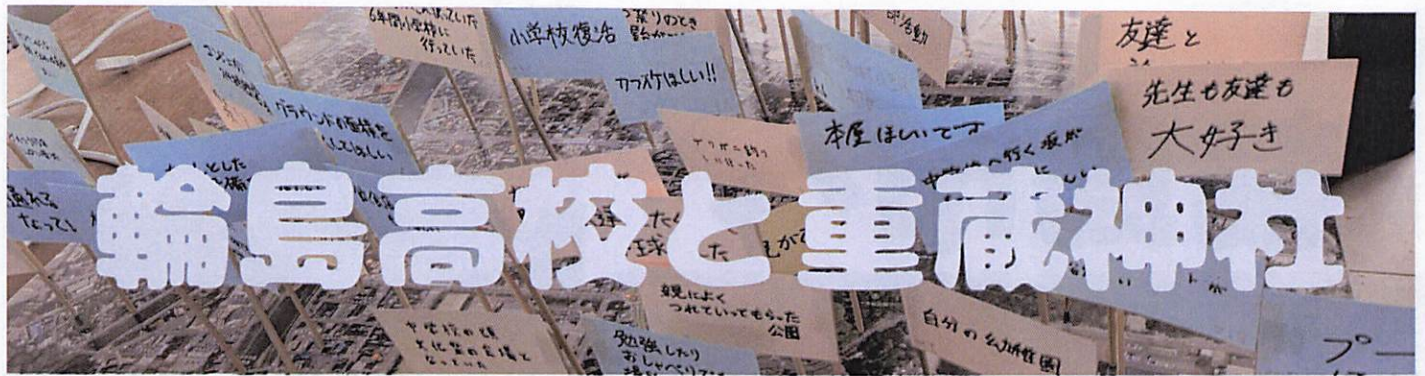
輪島高校は、地震直後緊急避難場所となり、のちに小学校、中学校の生徒たちの学びとなった場所です。

2023年100周年を迎えた輪島高校の 平野 敏校長が自ら 構内を案内して下さい

避難場所になった時の状況や災害前と災害後の子どもたちの様子などお話してくださいました。

地震の起こった時間のまま止まった時計。かなり傾いた廊下。斜めになった体育館の床。使える教室で授業は行われていましたが、校内の廊下を歩くだけで少し気分が悪くなるほどでした。水の配管が、外側から大きなパイプでトイレなどにつないでいる状態が続いていました。





石川県立輪島高校を訪問しました。

被災した子供たちのメッセージがいっぱい詰まった復興応援ソング「フェニックス」を輪島高校の生徒さんたちが中心となって歌い発信。

ミュージシャンである弓削田健介氏がご家族全員を地震で亡くした珠洲市の警察官大間さんとの出会いから、音楽の力で何かできないかという思いから繋がっていった「フェニックス」そしてその思いが日本全国47都道府県と繋がり、素晴らしいプロジェクトとなりました。今回のツアーメンバーもその1部に参加させて頂いています。佐賀で行われた「全日本音楽教育研究会全国大会」にて披露されフィナーレでは、輪島高校の平野校長が指揮をとって下さり、ワークショップに参された会場の皆さんと「フェニックス」を歌い素晴らしかったとお聞きしています。

是非、輪島高校へ伺い先生とお話したいという思いが通じ願いが叶いました。

とても柔和な先生で、お忙しい中、私たちの訪問を喜んでくださいました。校長先生のブログ「おこらいで」を是非ご覧ください。輪島高校ブログで検索されてください。校長先生は、訪問後の重蔵神社での奉納舞と歌にも足を運んでくださいました。

重蔵神社は1300年の歴史を誇る奥能登の古社で輪島の守り神「重蔵さん」

社殿、拝殿全壊状態でしたが、人々が集まる場所、手を合わせる場所は炊き出しや、支援物資の配給場所として被災されながらも重蔵神社の能門さんはSNSで発信。多くの方の安らぎの場所となった事と思います。その重蔵神社さんにて歌と舞を奉納させて頂きました。紀元節の歌にのせて舞を奉納。感謝の気持ちで奉納。そして1日でも早く日常に戻ることが出来、心や安らかに過ごせることが出来ますようにと。あられ交じりの中、奉納させていただき、奉納が終わるころにはそれを喜んでくださったように太陽が少し顔を見せてくれました。最後は、駆けつけて下さった平野校長先生と一緒に「フェニックス」を壊れた社殿の前で歌い、感無量となりました。

このような貴重な経験をすることが出来て感謝の気持ちでいっぱいです。



輪島市 宅田第1仮設住宅



最後の訪問は、輪島市宅田第1仮設住宅です。中学校の運動場に立てられていました。急遽訪問することが決まった仮設住宅だったので、繋いでくださった輪島市支援窓口「ビーズボード」の澤田氏が告知が出来ていないことを心配なさっていましたが11名の方々が集まって下さり、1時間ほど楽しい時を一緒に過ごしました。

珠洲市の仮設住宅で披露した歌を中心にこちらではコンサートのようにプログラムが進み、最後に「故郷」を皆さんと手をつないで大合唱！！固い握手をして別れました。



仮設住宅を訪問する前に、輪島市役所へ立ち寄り、コーラスグループの皆様の志の義援金を市役所へお渡ししました。

市役所もきれいになっていましたが、玄関の外側はまだ痛々しさが残っていて、ロビーには朝ドラの「まれ」の出演者の応援メッセージなど多くの方からのエールが掲げられていました。

12月になるとこの都市では、クリスマスの飾りを見かけますが、今回能登を訪問し始めて、市役所のカフェでクリスマスのツリーをみて、ちょっぴり心がほころびました。 あっという間に2日間（移動を含め3日間）が過ぎ2024年1月1日の能登半島で起こった地震の爪痕が、心に刺さりましたが、能登で出会った方々の笑顔の美しさに心打たれました。



九州博多から 愛をこめて

訪問先で披露した歌の数々

蛸島町第6団地A 棟集会所
輪島市 宅田第1仮設住宅

社会福祉法人 すず椿



- 1 歌のメリーゴーランド
- 2 シャボン玉
- 3 サザエさん
- 4 うみ
- 5 まれぞら
- 6 さくらさくら
- 7 フェニックス
- 8 赤鼻のトナカイ

- 1 サザエさん
- 2 うみ
- 3 さくらさくら
- 4 フェニックス
- 5 赤鼻のトナカイ

皆さんと一緒に
雪

皆さんと一緒に
ふるさと 雪

重蔵神社にて奉納

紀元節
フェニックス



仮設住宅への差し入れのご協力

筑紫菓匠 如水庵

皆様からお預かりした寄付金は下記の団体へ

能登半島地震復興支援団体 のとささえーる

重蔵神社

輪島市

ひとつとなつて



平野 敏校長先生と

ユカリクラシックバレエとその仲間たち『ありがとうコンサート』から始まった令和6年能登半島地震復興応援プロジェクト、支援して頂いた方々の想いを直接手渡すというミッションは、無事に終わりましたが、被災地ではまだまだ復興出来ていないところ、現地に住んでいる方々の心のケアは、もっと必要だと感じて帰ってきました。

輪島高校の平野 敏校長先生から

「よりそってくれてありがとう」という言葉を頂き心がうぎきました。物質面ももちろん重要ですが、目に見えないソフトな面こそ人に勇気と希望を与えるものだと感じました。

そして 能登半島地震が私の住む古賀市の沿岸にも津波注意報が発令され30人を超える市民が市役所に避難しました。他人ごとではない出来事であり、遠くてもつながっている、心も温かく繋がっていきたくてあらためて思った訪問でした。メンバーから「TVで報道されている事と実際に体感するのとでは大違いだった。被災地の現状を忘れることなく毎日感謝して人のためになる生き方をしようと思った」「瓦礫が積み上げられた道路を走る中、工事の重機100か所ほど、う回路や片側通行だらけ。まだまだ続く復興事業に今後も関心を持ち続けなければと強く思った。そのなか美しい虹にも出会いそれぞれに心揺さぶられる旅、音楽がひとを繋ぐ幸せな旅でもあった。今後の音楽活動にも大いに役に立てて行きたいと思う。」そして「フェニックスを紹介できてよかった。この曲からこんな経験につながって、これからもまだまだ多くの展開が待っているようなワクワクがある。これからも被災地に思いを馳せつつ私たちの場所で頑張りましょう」とメッセージを頂きました。今回5名のアーティストたちが心一つになって被災地に向かい共に音楽と舞を通して現地の被災者の方々、それを支える支援団体、ボランティアのみなさんと心通じ合えたことも大きな財産となりました。ありがとうございました。繋がりをひとつとなつて！！

光永祐香里



珠洲市 カフェ レストラン きへいどんにて

復興応援
光のハーモニー



能登半島地震復興応援
光のハーモニー

稲永啓子 黒瀬明子 國友むつみ
太田俊隆 光永祐香里